

## ふくしまキャリア探求ゼミを開催

### ふくしまでの新しい働き方やチャレンジの仕方を PR

「新しい東北」官民連携推進協議会は、Fw:東北 Weekly 特別編として、福島県内の高校生や大学生、福島県内で活動する地域おこし協力隊や復興支援員、福島県への移住に興味を持っている方などを対象に、「ふくしまキャリア探求ゼミ」を2018年12月2日（日）に開催いたします。

本イベントは、「新しい東北」官民連携推進協議会で今年の5月と8月に開催した福島県意見交換会から生まれた企画です。

福島県では震災以降、県内での就職やUターン・Iターンで移住を希望する人が増えています。また、県内で活動する地域おこし協力隊の数が100名を超え、福島県で新たな生活や活動にチャレンジする機運が生まれています。チャレンジをしながら生活していくためには、どんな要素が必要なのでしょうか。

当日は、UターンやIターンで福島県に移住して、仕事や生活において新たなスタイルを確立している方をゲストにお招きし、ご自身の経験、現在の仕事や生活のスタイル、今後の人生設計や、自分の住む地域をどのように捉え考えているかなどお話しいただき、参加者には、質疑応答を通じて、今後のキャリアをイメージするきっかけとさせていただくことを目指します。

#### <記>

日時	: 2018年12月2日（日）13:30～16:00（開場13:00）
場所	: コラッセふくしま 多目的ホール（福島県福島市三河南町1-20）
内容	: ゲストトーク、意見交換会など *ゲストのプロフィールは次頁
定員	: 60名 *事前申し込み制
参加費	: 無料
申込方法	: 以下のURLにアクセスしてお申し込みください。定員になり次第、締切 <a href="https://goo.gl/uar1ko/">https://goo.gl/uar1ko/</a>

※本イベントは、ご取材をお受けしております。ご希望の方は、お問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ先

NECソリューションイノベータ株式会社（受託事業者）

担当：岩嶋、高田

TEL：03 - 5569 - 3278

## <ご参考>

### Fw:東北 Weekly 特別編とは

「新しい東北」官民連携推進協議会の岩手県・宮城県・福島県での意見交換会で生まれた企画を実施。福島県意見交換会メンバーは、株式会社東邦銀行、公益財団法人福島観光物産交流会、福島県、国立大学法人福島大学、一般社団法人ふくしま連携復興支援センター、復興庁、復興庁福島復興局。

### Fw:東北 Weekly とは

復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による「Fw:東北」の取り組みやプロジェクトを紹介。東北で様々なテーマを掲げている活動やそれに取り組む人々にフォーカスし、認知向上や共創の輪を広げる活動として、東京や東北各地で各種イベントを多数展開しています。

## <ふくしまキャリア探求ゼミ ゲスト> \*登壇順、敬称略

- ◆高野 哲也（株式会社道の駅ひらた 駅長）【50代】【Iターン】【小売業】  
埼玉県出身。1994年、平田村にIターン。1996年「あぶくまローズ KOHNO NURSERY」創業。2009年「道の駅ひらた」の駅長に就任し、地元食材を使った商品の開発・販売を行う。
- ◆榊 裕美（NPO法人ワンダーグラウンド）【20代】【Iターン】【漁業】  
青森県出身。2017年、NPO法人ワンダーグラウンドに就職し、いわき市久之浜で“漁師修行”をしながら、漁業体験イベントの開催や漁師の取材をした図鑑の作成を行う。
- ◆進士 徹（NPO法人あぶくまエヌエスネット 代表理事）【60代】【Iターン】【自然体験】  
東京都出身。1988年に鮫川村に移住し、あぶくまエヌエスネットを創設。「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに、子どもから大人まで四季折々、山村での体験講座を持ちながら、グリーンツーリズムや生涯体験交流学習の場づくりを行う。
- ◆西本 浩幸（株式会社デザイニウム 取締役/ディレクター）【30代】【Iターン】【IT】  
愛知県出身。10年間SEを経験したあと、ITと地域課題解決の可能性を求めて会津若松市へ移住。CODE for AIZUやCoderDojo Aizuなど、ITで地域課題を解決するコミュニティで活動している。
- ◆古崎 泰介（田村夏井新聞店 代表）【30代】【Iターン】【まちづくり】  
埼玉県出身。一般企業で勤務した後、2014年に地域おこし協力隊として小野町に移住。任期満了後は、高齢のため継続が困難であった地元新聞店から事業を引き継ぎ、小野町で活動を続けている。
- ◆古山 浩司（古山果樹園5代目）【40代】【Uターン】【農業】  
福島市出身。創業明治16年の古山果樹園を営む家庭に生まれ、大手企業で13年間サラリーマンとして勤務した後、2010年に就農。見た目を良くするための栽培方法ではなく、味を重視する栽培方法で、味にこだわった桃とりんごを提供している。



ふるさきたいすけ  
古崎 泰介氏  
田村夏井新聞店 代表



にしもとひろゆき  
西本浩幸氏  
株式会社デザインニウム 取締役 / ディレクター



さかきひろみ  
榊 裕美氏  
NPO法人ワンダーグラウンド



ふるやまこうじ  
古山 浩司氏  
古山果樹園 5代目



しんとおる  
進士 徹氏  
NPO法人あぶくまエヌエスネット 代表理事



こうのてつや  
高野 哲也氏  
株式会社道の駅ひらた 駅長

2018 **12/2**  
13:30~16:00

場所 コラッセふくしま 多目的ホール

福島県福島市三河南町1番20号

【最寄り駅】 福島駅西口 徒歩3分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。  
<https://goo.gl/uar1ko>



# ふくしまキャリア探求ゼミ

## ふくしまでの新しい働き方・ チャレンジの仕方について知ろう

◆ 参加費 無料

◆ 定員 60名

◆ 主催 復興庁

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

Fw:東北Weekly特別編では、「新しい東北」官民連携推進協議会の岩手県・宮城県・福島県での意見交換会で生まれた企画を実施します。福島県意見交換会のメンバーは、株式会社東邦銀行、公益財団法人福島観光物産交流協会、福島県、国立大学法人福島大学、一般社団法人ふくしま連携復興支援センター、復興庁、復興庁福島復興局です。

# ふくしまキャリア探求ゼミ ふくしまでの新しい働き方・チャレンジの仕方について知ろう

日時 2018.12.2(日) 13:30~16:00

場所 コラッセふくしま 多目的ホール

## 企画趣旨

福島県では震災以降、県内での就職やUターン・Iターンで移住を希望する人が増えています。また、県内で活動する地域おこし協力隊の数が100名を超え、福島県で新たな生活や活動にチャレンジする機運が生まれています。福島県に住む中で、チャレンジをしながら生活していくためには、どんな要素が必要なのでしょう。

福島県にUターン・Iターンで移住して、仕事や生活において新たなスタイルを確立している方をゲストに迎え、これまでどのようなキャリアを歩んできたのか、今後の自分や地域をどのように考えているのかお話を聞き、さらに、ゲストを囲んでざっくばらんに質問し、経験や考えを教えていただきながら、参加者それぞれの福島県での未来(仕事・生活)について、イメージしていくイベントです。きっと「自分にもこんな生き方、働き方があるかもしれないんだ」という発見があることでしょう。

県内での就職や移住を考えている人、さらには働くことの意義を模索している方にもお勤めのイベントですので、是非お越しください。

## 登壇者

※五十音順/敬称略

### ◆ 高野 哲也 (株式会社道の駅ひらた 駅長) 【50代】【Iターン】【小売業】

埼玉県出身。1994年、平田村にIターン。1996年「あぶくまローズ KOHNO NURSERY」創業。2009年「道の駅ひらた」の駅長に就任し、地元食材を使った商品の開発・販売を行う。

### ◆ 榊 裕美 (NPO法人ワンダーグラウンド) 【20代】【Iターン】【漁業】

青森県出身。2017年、NPO法人ワンダーグラウンドに就職し、いわき市久之浜で“漁師修行”をしながら、漁業体験イベントの開催や漁師の取材をした図鑑の作成を行う。

### ◆ 進士 徹 (NPO法人あぶくまエヌエスネット 代表理事) 【60代】【Iターン】【自然体験】

東京都出身。1988年に鮫川村に移住し、あぶくまエヌエスネットを創設。「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに、子どもから大人まで四季折々、山村での体験講座を持ちながら、グリーンツーリズムや生涯体験交流学習の場づくりを行う。

### ◆ 西本 浩幸 (株式会社デザインウム 取締役/ディレクター) 【30代】【Iターン】【IT】

愛知県出身。10年間SEを経験したあと、ITと地域課題解決の可能性を求めて会津若松市へ移住。CODE for AIZUやCoderDojo Aizuなどで地域課題を解決するコミュニティで活動している。

### ◆ 古崎 泰介 (田村夏井新聞店 代表) 【30代】【Iターン】【まちづくり】

埼玉県出身。一般企業で勤務した後、2014年に地域おこし協力隊として小野町に移住。任期満了後は、高齢のため継続が困難であった地元新聞店から事業を引き継ぎ、小野町で活動を続けている。

### ◆ 古山 浩司 (古山果樹園 5代目) 【40代】【Uターン】【農業】

福島市出身。創業明治16年の古山果樹園を営む家庭に生まれ、大手企業で13年間サラリーマンとして勤務した後、2010年に就農。見た目を良くするための栽培方法ではなく、味を重視する栽培方法で、味にこだわった桃とりんごを提供している。

## プログラム (予定)

1. 開会メッセージ
2. 「新しい東北」官民連携推進協議会および本イベントの趣旨説明
3. ゲスト紹介
4. ブース交流
5. 閉会メッセージ

## 参加対象者

- ・福島県内の高校生および大学生
- ・福島県内で活動する地域おこし協力隊および復興支援員
- ・福島県への移住に興味を持っている方 等

主催：復興庁 / 企画運営：NECソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)

f 「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwttohoku/>

【注意事項】会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。